

平成30年度第1回安城市総合教育会議議事録

日 時 平成30年6月21日(木) 午後3時から午後3時40分  
場 所 アンフォーレ 図書館 グループ学習室5・6  
出席者 市長 神谷 学  
教育委員会 杉山 春記 教育長  
加藤 滋伸 教育長職務代理者  
近藤 倉生 委員  
船尾 恭代 委員  
伊奈 希 委員  
出席した職員 永田博充 企画部長  
神谷澄男 行革・政策監  
寺澤正嗣 アンフォーレ管理監  
近藤芳永 教育振興部長  
大見 智 生涯学習部長  
横山真澄 企画情報課長  
岡田知之 アンフォーレ課長  
神谷 徹 総務課長  
上原就久 学校教育課長  
深谷英衛 企画情報課課長補佐  
島田雅仁 総務課課長補佐  
今井厚志 学校教育課課長補佐

傍聴者 なし  
開 会 午後3時  
日 程

第1 開会

第2 市民憲章の唱和  
(市民憲章 唱和)

第3 あいさつ(要旨)

神谷市長：本日の議題はこのアンフォーレについて。

アンフォーレは、昨年6月のオープンから早1年が経過している。昨年度末の3月30日には入館者数が100万人を突破して、5月末でのオープン1年間の入館者総数は、118万281人となっている。図書館が88万1,236人ということで、この建物に入った方の75%程が図書館利用者ということになる。図書館利用者の数でいくと、前の中央図書館時代の概ね2倍になっており、このアンフォーレ効果、いろんな面で大きく広がっているのでは

ないかと思う。

皆さま方のご意見を拝聴したいと思う。

杉山教育長：教育をめぐる課題は、未だ山積している。昨年度末、「安城教育充実プラン」というものを作成した。本年度はその実行の年だ。

第4 議題 「開設から1年経過したアンフォーレについて」

アンフォーレ課長説明する。

船尾委員：全体としてとても素敵だ。特に学校連携による効果が現場の声も良い反応がたくさんあってよかった。

ただ、民間委託してしまうと、どうしても期間によって区切れてしまうということがあるので絶対に図書館は市で直営のまま置いてほしい。

継続性が大事な部門では、やはり市が継続的に、長期的に見ていくということをしてくださるといいと思う。

神谷市長：保護者代表として伊奈委員はどうお考えか。

伊奈委員：中学生の子どもたちから聞く声は、待ち合わせで使いやすい、また勉強も友達と一緒にやりやすい。家から弁当を持ってまでは来ないので、近くでもう少し食べられるところがあるといいなと思う。小学生の子どもたちは自転車でここまで来て、子どもたちだけで本を借りて帰ることができる。私の子どもたちも毎週、朝アンフォーレまで散歩に出かけて、本を借りて帰ることができるので、親としてもとても助かっている。親の声としては、駐車場がどこから入れればいいのか分かりにくいとよく聞く。また市外の方はこの辺りの道が良くわからないので、案内がなくて本当に困ると聞いたことがある。その辺が改善されるといい意見が出てくるのではないかな。

神谷市長：今後NTTの建物の南側が民間開発され、マンションとかオフィスビルとかホテルができる。その1階部分にカフェとかレストランが入る予定になっており、ここから徒歩3、4分で行けるので、もうしばらくお待ちいただきたい。駐車場に関してはいろいろと苦情が多いのは事実だが、駐車場の枠からはみ出して停める方もいるようなので、いろいろ注意を促してもらっている。

JR駅のすぐ前があるので、市外の方は電車で来てもらいたいですが、また、いろいろお伝えいただければありがたい。

アンフォーレ管理監：駐車場については、改善をするようにはいつも指導しているが、民間の中で営業として成り立たなくてはいけないから、なかなか新しいものを作るとか、新しいシステムを導入するとかということには、消極的だ。

また業者と打ち合わせをしながら、進めていきたいと思っている。

伊奈委員：道案内の看板とかがもう少し増えるといいかもしれない。

アンフォーレ管理監：考えていきたいと思う。

船尾委員：駐車場は、今2時間無料になっている。例えば3時間利用すると2時間分は無料だけれども2時間を超えてしまった分は有料になるという話も聞く。豊田の市役所に行ったら3時間無料だった。そういうことはここもできないのか。民間利用は2時間でもいいと思うが、このような公的な会議を行うときに例えば3時間無料とかにできるといいと思う。

アンフォーレ管理監：駐車場は、恐らく今日も会議で2時間超えると料金がかかってしまう。私どもも2時間以内の会議はなかなかないので、3時間くらい無料としたいが、やはり民間は自分たちの採算ベースでやっているの、私どもが3時間無料にしろとは言えない。ただドミーで1,000円以上の買い物をすると90分無料になる。追加の無料サービスがあるので、帰りにちょっと1,000円くらい買い物をしていただくと3時間無料になる。

船尾委員：分かりました。言っておきます。知り合いから、あそこの駐車場はすれ違いが難しいとかいろいろな苦情の上に、お金もかかると言われる。買い物すれば無料時間がプラスしてもらえるとということでもいいか。

アンフォーレ課長：買い物だけだと90分無料だが、上限は3時間である。本館で認証をした後に1,000円買い物すれば、プラス60分で3時間無料になる。

船尾委員：それでは皆に知らせておきます。ありがとうございます。

近藤委員：1年間の結果はとても良い。アンフォーレが出来て経済的波及効果はまだ検証されていないのか。それに関連して土、日は来館者が多いと思う。1週間の入館者のアベレージがあったが、土、日を除く平日のアベレージはどれくらいか。病院があったときは平日も結構混んでいた。今アンフォーレを使う人は若い人が多いと思うので、平日は学校があり来館者は多くないと思うが、結局まちづくりの一環として考えるとその辺はどうか。もうあと1点。このアンフォーレができたことによって自治体における文化度の高さが上がったのか。

アンフォーレ課長：まず、1日3,000人の来館者があってその効果はどうかということだが、まだ、まちなかの賑わいとか活性化までには至っていないのでは、というのが正直なところだ。それは行政だけでやれることではない。地域の商店街の方、それから地域の皆さんの努力も必要と思っているので、指定管理者とも連携して、こちらからいろいろ仕掛けていきたい。

それから土、日と平日の入館者だが、大まかにいうと全体で1日3,500人、平日の平均が2,000人程度、土、日が4,000人と記憶している。平日でも2,000人というのはかなりの数字と思っている。

それから、アンフォーレの効果で安城市の文化度の向上にどれくらい貢献し

ているかということだが、そういう評価は今から出てくると思っているので、こちらも期待している。

加藤教育長職務代理者：今、皆さんが本を借りて、活用している姿を見てきたが、喜んでいる姿を見るとうれしい。学校関係でいうと先ほど話があったが、子どもの読書が増えてきているということで、小中学校との連携は上手くいっているが、今後、例えば県立学校が特別支援学校をいれると5校あるが、そういった学校やあるいは安城学園さんとかさくら学園さんとの連携などは考えられるのか。

アンフォーレ課長：小、中学校はこういう形で本当に全国的にも誇れる連携ができており、効果がすぐに出るということではないかもしれないが、じわじわと子どもたちに良い効果が出てくると思っている。

高校については、実は今、愛知県図書館の方がいろいろ音頭をとっている。地域の公立図書館と公立の高校、特別支援学校がうまく連携ができないかということで、県図書館の本をこの地域の公立図書館まで届けるので、高校なり特別支援の学校がそこまで借りに行ければ貸すというサービスをモデル的に昨年度くらいから始めている。愛知県内で始めているのは、稲沢市と蒲郡市の2市だけと聞いている。今年度から県図書館から具体的に話があって、安城農林高校がそのシステムをぜひ利用したいということで手を挙げていただいた。図書館同士で貸し借りする相互貸借という配送便が毎週1回あるので、その便に載せて県図書館で安城農林高校が借りたいというのを具体的に用意して持ってきて、それをここまで来て借りてもらおうという、サービスを安城農林高校と県図書館でまずはやってみようということで今具体的に話が進んでいる。それがうまくいけば、ほかの高校だとか特別支援学校、私立の学校もここに来てもらえれば、県の本だけではなく、安城市の図書館の本も団体貸出しできる。実は高校でうちの団体貸出しのカードすら作っていないところもいくつかあるので、ぜひそういう形でここで県の本も安城市の図書館の本も団体で借りていただくというサービスを行っていきたい。

加藤教育長職務代理者：南高校でも朝読をやっていると思うから、利用するといいい。そういうことも将来的には可能であるということか。

アンフォーレ課長：そうできるように準備を少しずつ進めている。

アンフォーレ管理監：図書の貸出しということではないが、安城高校や東高校などの学生たちが、1階のエントランスでいろいろなものを販売したりだとか、安城学園の吹奏楽だとか、そういったところからもいろいろな交流を図っていきたい。

第5 その他

第6 閉会 午後3時40分